

令和7年度の松沢小学校の教育

松沢小学校長
寺崎 晶子

スローガン 「**みんなで楽しく みんなが楽しく**」

個別最適な学びと協働的な学びのどちらも学校教育では欠かせない大切なものです。「**みんな**で」と「**みんな**が」を常に意識していきます。このスローガンは子供だけでなく、教職員、保護者、地域も含まれています。仲間とともに学ぶ中で個々が成長し、輝くことをあらゆるところで目指していきます。

(1) 誰一人置き去りにしない教育

- ・ユニバーサルデザインの授業や共生社会の実現を目指したインクルーシブ教育に積極的に取り組みます。
- ・「みんなうちの子」を合言葉に、チームで子供たちを支えます。

(2) 主体的に学ぶ（活動する）児童

「なりたい自分になる」ことを意識させた学習に日常的に取り組みます。
(キャリア教育の推進)

(3) 授業の充実

- ・合同授業・交換授業・少人数指導・ティームティーチング等児童の実態に即した様々な学習形態を工夫します。(教科担任制の部分的な導入)
- ・ICTを効果的に活用し、児童の学びの質を高めます。
- ・校内研究「体育」を通して、みんなで楽しくみんなが楽しい体育を目指します。

(4) 地域と共に子どもを育てる教育を推進します

- ・地域人材の活用
- ・外部機関との連携
- ・豊かな体験活動の充実

(6) 働き方改革を推進します（知っておいてください）

- ・教員には勤務時間があります。

8：15～16：45（休憩時間：15：45～16：30）

※早すぎる登校で起きたケガやトラブルは、学校で対応できないことがあります。

(8：15～8：25が登校時間)

留守番電話設定：現在は18：30～翌朝7：30

5月1日以降17：30～翌朝7：30とさせていただきます。

- ・朝ラン 学校運営委員会主催の活動 火・木の7：50～8：10自由参加
- ・今年度から土曜日や休日に授業をした場合は振替の休業日が設けられます。
- ・通知表の文字所見の欄を減らし、面談で直接お話をする機会を増やします。詳細は学期末に説明します。

【特に伝えたいこと】

○せたがやインクルーシブ教育ガイドラインについて

○斜めの関係を上手に使う。

親が直接叱ったりほめたりするよりも効果的なことがあります。

仲良しの子の保護者 隣のクラスの先生などを効果的に使いましょう。

○子供の発達やかかわり方についての相談（担任 学年主任以外にもたくさんあります）

SC すまいる 保健室 管理職 行政の相談機関

○叱るときの5原則

- ①行為だけを叱る ②時間をおかずに叱る ③どの行為をどんな理由で叱っているかを明確に ④叱る人の責任で叱る ⑤他の人と比べない

○うわさ話、本当の事かどうかわからない内容のメールやLINE は怖いです。

責任が取れますか？

大人が、SNS の上手な使い手の見本になりましょう。

○子どもの話や様子から、子どもを取り巻く社会や子どもの内面が見えます。

- ・何でも話す ・何も話さない ・良いことしか言わない ・悪いことしか言わない

※親に心配をかけたくない、心配してほしい、叱られたくない 等、子どもなりに色々考えています。

○子供は動画、大人は静止画

- ・子供たちの生活や人間関係は、日々動いています。どうしても、大人は、切り取られた場面がずっと続いているように思うことがあります。何かあったときには、子どもの気持ちを中心に置き、子供が楽しく学校生活を送れるよう、一緒に考えていきます。

○子どもの持ち物の把握（ランドセル・筆箱の中身チェック）

- ・買ってあげてないものを持っていますか？（交換× あげる・もらう×）
- ・学校に持って行くべきでないものは入っていますか？
- ・危険なものは入っていますか？
- ・あるはずのものが、なくなっていますか？

校長として・・・

- 1 校長室には、どうぞ気軽にお越しく下さい。特にちゃんと時間をとって話したいときは事前にアポイントを取っていただくと助かります。
- 2 学校にいるときは、毎朝、門で子どもを迎えます。（正門 西門 交互に立ちます）
- 3 毎日学校にいる時は校内を見てまわります。子供と距離の近い校長でありたいです。